

第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

デイリー・ジーザス・ニュース #144

1. 仮庵でのイエスの最初の教え：「生ける水の川」

i. イエスは自分の教えが神聖であると主張する

ヨハネ7.11-19

11 さて、祭りの期間中、ユダヤ人の指導者たちはイエスを捜して尋ねました。「あの人はどこにいるのか？」

12 群衆の間では彼について不満の声が広がっていた。「彼は良い人だ」と言う者もいた。他の人々は答えた。「いいえ、彼は人々を騙しているのです。」 13 しかし、指導者たちを恐れて、誰も彼について公に何も言わなかった。

14 祭りの中頃に、イエスは神殿の境内に上って教え始められた。 15 そこにいたユダヤ人たちは驚いて尋ねました。「この人はラビとして教育も受けていないのに、どうしてそのような学識を得たのですか？」

16 イエスは答えた。*「わたしの教えはわたし自身の教えではなく、わたしを遣わした方から出た教えです。 17 神の意志を実行しようとする人なら誰でも、私の教えが神から来ているのか、それとも私が自分の考えで話しているのかが分かるでしょう。」*

18 「自分勝手に語る者は自分の栄光を得ようとする。しかし、自分を遣わした方の栄光を絶えず求める人は真実な人であり、その人には偽りが無い。」

19 「モーセはあなたたちに律法をしっかりと伝えたではないか。それなのに、あなたたちのうち、律法を守っている者は一人もいない。なぜ私を殺そうとするのか。」

==--==--==--==--==--==--==

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = ^{MT}、マーク = ^M、ルカ = ^L、ヨハネ = ^J、使徒行伝 = ^A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、*赤いイタリック体はイエスの言葉を示します*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムの神殿の庭
タイムライン	9月 (31月)
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

	1. 仮庵でのイエスの最初の教え：「生ける水の川」
タイトル	i. イエスは自分の教えが神聖であると主張する

コメント：

イエスは仮庵の祭りのためにエルサレムに到着した後、祭りの最後の4日間、神殿で宣教活動を行いました。本日から始まるDAILY JESUS NEWSの次の26回の投稿では、ヨハネ7章11節から10章21節に記されているこの集中的な宣教活動の期間について取り上げます。

仮庵の祭り（または祭）は、「仮庵祭」とも呼ばれ、エジプトの奴隷状態から解放された後、シナイの荒野で神の民に示された神の絶対的な恵みと保護を記念する1週間の祭りでした。人々は1週間を過ごすために屋外に小屋を建て、「仮庵」または「仮庵」と呼ばれました。子供たちは祭りの雰囲気と屋外生活の冒険を大いに楽しみ、ユダヤ教の7つの年中行事の中で最も人気のある祭りとなりました。

この祭りの中心は水と光でした。水は、神が砂漠で民に奇跡的に水を与えたことを記念するものでした。祭りの真ん中の日に、神殿の中庭でシロアムの池から汲み上げた水が巨大な容器に満たされました。そして、クライマックスの瞬間に、水は小さな川のように容器から流れ出しました。

光は、昼は雲、そして夜は荒野で40年間神の臨在の幕屋を照らし続けた火を記念するものでした。エルサレムの神殿全体が夜になると巨大なろうそくと追加のたいまつで照らされ、約40キロメートル離れた場所からでも街の姿が見えました。

イエスは、神殿の庭でのメッセージの中で、水（第7章）、光（第8章と第9章）、そして荒野での旅路における神の羊飼のような民への配慮（第10章）といった、聖書に深く根ざした象徴を用いることを選ばれました。イエスは、メシアとしての御自身の御姿と御業において、仮庵の象徴を成就されました。これらのメッセージの中で、イエスはご自身について三つの偉大な「わたしはある」という宣言をされます。わたしは「世の光である」（ヨハネ8:12）、「わたしは門である」（ヨハネ10:7）、「わたしは良い羊飼いである」（ヨハネ10:10、11、14）です。

今日の朗読では、イエスは祭りの真ん中、つまり「大いなる日」、つまり巨大な器から「水の川」が流れ出たまさにその日に神殿に上られました。この壮大な祝典には大勢の群衆が集まり、イエスはその場を捉えて立ち上がり、語りかけました。騒々しい群衆の注目を集め、引き留めることができたイエスの姿は、聖霊によって良い知らせを宣べ伝えるために油注がれた、語り手としてのカリスマ性と力強さを如実に示していました。

イエスが教え始めると、人々はイエスがこれほどの権威と洞察力をもって語ることに驚きました。イエスはラビ学校、つまり今日で言う神学校出身ではありませんでした。イエスはどこでそのような知識を得たのでしょうか。イエスは、それは父なる神から与えられたものだと言いました。父なる神はイエスを天から地上に遣わし、神の忠実な代理人として仕えさせてくださったのです。ですから、イエスは7章16-17節で、ご自

第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教

B. 仮庵の祭りにおけるイエスの宣教

身の教えについて重要な約束をなさいました。それは今日でも真実です。今日の聖句の中に、その約束を見つけられますか。

応用：

イエスは父なる神から語られたので、その教えに対する唯一の適切な応答は従順です。イエスの教えを实践する人は、イエスの教えが神から来たものであることを自らの経験を通して証明するでしょう。神の御心と真理を知る上で問題となるのは、心ではなく、私たちの意志です。

私たちは本当に従う意志がありますか。もしそうなら、私たちを自由にする真理として、神の言葉の力を経験するでしょう。

今日はイエスの教えの中で、具体的にどのような命令に従いますか？